ひとよし市議会だより

第130号

2026 / 令和８年11月１日 発行



秋空の下 昔ながらの稲の竿掛け(赤池水無町)

主な内容

P2～3　議会を知る
P4　９月定例会報告
P5　委員会報告
P6～9　一般質問　～市政を問う～
P10～11　行政視察、要望活動
P12　寄せられたご意見に
DX化検討部会長がお答えします！

編集　議会報編集委員会

発行　人吉市議会
人吉市西間下町字永溝７番地１
☎　０９６６－２２－２１１１（代）
E-mail　gikai@hitoyoshi.kumamoto.jp

市のホームページでもご覧になれます
URL　https://www.city.hitoyoshi.lg.jp/

わたしたちのまちを、
わたしたちの手で

地域を考える。自分の声を届ける。

～まちの未来を考えよう～



高校生の探求から広がった、議会への新たな提案と協力のかたち

意見交換会をきっかけに議会に関心を持った人吉高校の生徒の皆さんが、さらに深く調べる中で、「人吉高校探求活動について(提案及び協力依頼)」を作成し、市議会に提案に来られました。



市議会議長を訪問し、探求活動の提案と協力依頼を行う人吉高校2年生の生徒(令和8年7月31日)



高校生からの取材を受ける宮原議長

高校生からの主な提案内容

1 一般質問の動画の編集・再構成

若者が興味を持ちやすい
ダイジェスト動画を作成する。

2 議員の自己紹介ショート動画の撮影・編集

議員の人柄や活動内容が伝わる
1分程度のショート動画を作成する。

3 動画の活用・公開

作成した動画をYouTubeなどのSNSにアップロードし、若者へ情報発信する。

人吉高校２年生 総合的な探求の時間 中間報告会



人吉市議会議員5名は、人吉高校の「総合的な探求の時間 中間報告会」を見学しました。(人吉高校ホームページに掲載)

人吉高校2年生が、これまでの市議会との探求活動の進捗状況を発表し、相互評価も行いました。現在は11月の成果発表会に向けて、ブラッシュアップを進めています。また、生徒と議員とのディスカッションも行いました。(令和８年９月24日)

市議会のこれからの取組み

若者との意見交換を通して、議会をより身近に感じてもらえるよう取り組んでいます。

高校生からの提案を基に、議会のDX化検討部会では、一般質問動画の編集・再構成や、議員の人柄や活動が伝わる自己紹介ショート動画の作成について、検討を始めています。

今後も高校生をはじめとする若い世代との意見交換の機会を設け、その声を市政につなげるとともに、議会の情報発信の充実や主権者教育の推進に取り組んでいきます。

人吉市議会
主権者教育への取組み

議会を知る。

～主権者として いっしょに～

主権者教育とは？

主権者教育とは、選挙や政治の仕組みを学ぶだけでなく、地域や社会の課題を「自分ごと」として考え、意見を持ち、自ら判断し、主体的に行動する力を育てる教育です。将来のまちづくりを担う若い世代が、地域に関心を持ち、まちづくりに参加していくことは、地域の未来をつくる大切な力です。

人吉市議会では、高校生との意見交換会や学校での出前授業などを通して、議会の役割や仕組み、市政の現状と課題について学ぶ機会を設けています。若い世代が議会をより身近に感じ、社会に参加する意識を高めるため継続的に意見交換できる場を設けています。



主権者教育の３つのポイント

1. 社会の課題を「自分ごと」にする
2. 多角的に考えて意見を持つ
3. 主体的に行動・参加する

人吉市議会と生徒の意見交換会

人吉市議会は、これまで地域の課題やこれからの人吉について意見を交わしてきました。

令和７年１月９日 人吉高校(体育館)



若者に地方議会を身近に感じてもらおうと「議員と語ろうin人吉高校」を開催。議員15人と生徒が参加し、議会の役割や仕組みの説明の後、外国人観光客に向けた案内表示の多言語化や情報発信など、さまざまな質問や意見が出されました。

令和８年２月16日 九州技術教育専門学校



高校生に政治や議会を身近に感じてもらおうと、九州技術教育専門学校で意見交換会を開催。議会の役割や仕組みを説明し、事前アンケートの結果を報告。将来のまちづくりや若者の参加について意見を交わしました。

令和８年２月18日 人吉高校･球磨工業高校 合同



人吉高校と球磨工業高校の生徒23人と議員15人が参加し、４つのグループで意見交換を実施。「どんな人吉球磨になってほしいか」をテーマに、美術館の設立や体育館へのエアコン設置、SNSの活用など、さまざまな提案が出されました。

９月定例会報告

令和８年９月第４回定例会は、８月31日から９月25日までの26日間開催されました

令和８年度 一般会計補正予算

6億2,883万8千円増額可決

動画視聴

（補正後の総額　219億3,281万3千円）

７月専決処分を承認

令和８年７月28日に発生した熊本地震に早急に対応するため、財政調整基金より5,000万円を繰り入れるもので、地震発生翌日の７月29日付で専決処分したものです。

被災地派遣職員経費　600万円

令和８年熊本地震に伴う避難所運営経費、被災地派遣経費などの早急な対応に要する経費です。

物価高騰対策(水道料金減免)

水道事業特別会計繰出　4,604万円

物価高騰対策として水道料金基本料金を10月～12月請求分の３か月間減免するものです。

上水道未使用者等支援　120万円

上水道を利用していない世帯に対し水道料金基本料金等相当額の３か月分を交付するものです。

総務費関係

家庭用防犯カメラ設置事業補助金　150万円

犯罪から市民の安全を守ることを目的に、住宅に防犯カメラを設置する費用について補助するものです。補助対象経費は防犯カメラ本体の購入経費や設置工事費等で、補助対象経費の２分の１以内、かつ上限額３万円を補助額とします。



納税促進業務委託料　1,414万円

市税や国保税の督促や案内業務を民間委託し、職員は滞納処分や複雑な相談対応に注力することで収納率及び収納額の向上を図るものです。

民生費関係

高齢者補聴器購入助成事業　300万円

身体障害者手帳の対象とならない難聴高齢者を支援するため、補聴器購入費用の半額を助成するものです。

片耳分(１台分)３万円、両耳分(２台分)６万円を上限とします。



土木費関係

道路維持補修工事　1億5,000万円

市内一円の生活道路等の維持補修として、全14箇所の道路維持補修工事を行います。

田んぼダム整備工事　1,500万円

鬼木地区の一部水田に田んぼダムを導入し、下流域への排水緩和を図るものです。

教育費関係

人吉城跡照明等設置　1,476万円

観光客の夜間回遊促進、夜間滞在時間延長を目的に、人吉城跡に照明設備を設置します。

決算特別委員会を設置しました

９月定例会最終日に、令和７年度の決算を審査する決算特別委員会を設置しました。
前年度の予算が「計画どおりに執行されたか」などを審査し、12月定例会で結果を報告します。

【委員長】村上　恵一　【副委員長】松村　太
【委　員】川上　紗智子、池田　芳隆、平田　清吉、西　信八郎

総務文教委員会報告

●委員長　松村 太　　●副委員長　豊永 貞夫
●委　員　大塚 則男・平田 清吉・西 信八郎

●条例案件の３件を承認

・議第83号　人吉市長等政治倫理条例

市長、副市長及び教育長の政治倫理に関する基準を新たに定める条例。

・議第84号　人吉市消防団条例の一部を改正する条例

基本消防団員及び機能別消防団員の定員を「559人」から「440人」に改正。

問　定数変更による影響は。

答　定数減とすることで市の負担が削減になる。その分を団に何らかの支援ができないかと考えている。

問　消防庁からの通知には、団員数の確保を進めるとともに、条例定数を削減することについては慎重を期すこと、とあるが、これまでの取組は。

答　新入団員の確保については、団のほうで新しい方を確保されてきたが、現状は難しい。今後、企業への訪問、団員の活動のしやすさなど、検討していく。しっかりと団員を増やす取組を行っていく。

・議第85号　人吉市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

非常勤消防団員等に係る損害補償の基準の葬祭補償の額が改定されたため条例改正。

動画視聴

厚生委員会報告

●委員長　池田 芳隆　　●副委員長　徳川 禎郁
●委　員　井上 光浩・福屋 法晴

●条例案件の５件を承認

・人吉市手数料条例の一部を改正する条例

証明書自動交付機による証明書等の交付対象として「特定在留カード」及び「特定特別永住者証明書」を条例上に明記する改正。

問　特定在留カード等の「特定」とは何か。

答　マイナンバーカードと一体化した在留カード等に「特定」が付される。

・人吉市子ども医療費助成に関する条例の一部を改正する条例

県内の医療機関を受診した際の子ども医療費助成を、従来の償還払いから窓口負担のない現物給付へ変更する改正を行うもの。

問　高額医療費の扱いはどうなるか。

答　現時点では、対象外となる予定。

●令和８年度特別会計補正予算３件(国民健康保険事業・後期高齢者医療・介護保険)を承認

国民健康保険事業賦課徴収費の増額は、収納率の向上や滞納繰越額の圧縮を目的とした「納税促進業務委託」に係る費用。

問　納税促進業務の委託の体制等は。

答　3人常駐体制を想定しており、庁外勤務はない。令和11年度までの収納率向上を目指す。

動画視聴

経済建設委員会報告

●委員長　牛塚 孝浩　　●副委員長　宮﨑 保
●委　員　川上 紗智子・村上 恵一・田中 哲

●人吉市水道事業及び公共下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について承認

地方自治法の一部を改正する法律(令和６年法律第65号)の施行に伴い条項を改めるもの。

●市道路線の廃止、及び認定について承認

戸越地内第４号線の避難路整備に伴い、新たに市道を認定するため、既存の起点人吉市矢黒町辻岡1701番3地先から、終点人吉市下戸越町下大平1654番１地先までを廃止し、新たな終点を人吉市下戸越町下大平1649番１地先と定め認定するもの。なお、終点の県道人吉水俣線との接続部は交差角を変え安全性を向上させ、幅員は７メートルとし、併せて大坪橋の架け替えも行う。

問　廃止した市道に係る残地はどうなるか。

答　民有地は、保育園が購入し駐車場としている。西瀬小学校の駐車場は継続利用し、他の敷地利用は関係者と協議を重ねていく。

●補正予算２件を承認

・令和８年度人吉市水道事業特別会計補正予算(第２号)

令和８年熊本地震に伴う災害対応等の負担金や、矢黒下戸越線の避難路整備事業などに伴う工事費を増額補正するもの。

・令和８年度人吉市公共下水道事業特別会計補正予算(第２号)

ＳＬ人吉をテーマにしたデザインマンホール作製業務や、青井宝来排水区建物等事後調査業務委託料などの増額補正をするもの。

問　デザインマンホールは人吉駅前だけに設置するのか。今後増やす予定はないのか。

答　人吉駅自体が観光客を集約する場所なので、今回はそこに設置するが、今後別のデザインで作製していく計画であり、拡張していく可能性はある。

問　設置後の周知はどうするのか。

答　広報をしっかり行い、今後、マンホールカードを作成し、より一層の周知を図りたい。

動画視聴

一般質問 ～市政を問う～

スポーツ振興・犯罪被害者等支援条例



田中　哲

動画視聴

問 県営野球場の誘致を見送ったが、今後「川上哲治記念球場」を公式戦が開催できる球場に改修は。同球場を経営のノウハウ等から、県、民間に譲渡等の考えは。

答 野球関係者の意見を聞きながら調査研究を進める。

問 令和2年の豪雨災害で、被災した市民プール（50m）の再建について、「市民プール検討委員会」の答申から4年も経とうとしているが、再建の方向性は。

答 次期計画である令和10年度からの第7次人吉市総合計画に具体的な方針を示すように検討する。

問 犯罪被害者等支援条例の制定は。

答 多様化する犯罪から市民の暮らしを守ることは必要不可欠。制定は本年度中に議会に諮る。

避難路整備の状況と今後



平田　清吉

動画視聴

問 避難路整備の整備状況と今後は。

答 避難路整備は、22区間、26路線の市道を優先度に応じ、第一期から第三期に分割して進めている。現在までに、温泉町のみんなの家横全延長１１３m、相良町の相良薩摩瀬第２号線内95m、村山観音道路線の西小工区70m、瓦屋町の瓦屋芦原線内78m、東間上町の西間東間線のむつみ橋左岸側70mを、整備完了している。現在は、相良薩摩瀬第２号線内１０６m、矢黒下戸越線内１８０m、宝来町の宝来村山線内88m、村山観音道路線内１０１m、温泉町から薩摩瀬町の薩摩瀬湯の本線内１５０mを、整備中である。
今後は、第二期路線（８区間10路線）、及び第三期路線（７区間９路線）、の整備を進める予定である。

入札方式の基準と公平性・透明性等は



大塚　則男

動画視聴

問 入札方式の基準と公平性・透明性・経済性の確保は。

答 契約の方法は、一般競争入札、指名競争入札、随意契約がある。一般競争入札は入札情報を一般に公告し参加基準を満たす不特定多数の者により入札を行う。指名競争入札は入札参加希望者の資格審査を行い案件ごとに指名基準を満たしている者を指名し入札を行う。随意契約は競争入札を行わず予定価格が２００万円以内のものや災害時など緊急の必要により行う。一つとしてプロポーザル方式は、性質や目的が競争入札に適しない契約をするとき、価格だけではなく課題解決や取組体制等を審査し創造力、技術力、経験などで選定を行い市民の信頼に応えるため、適正な入札に万全を期している。

一般質問　～市政を問う～

一般質問・通告書はこちらから

※一般質問の録画映像もご覧いただけます。

市庁舎の安全対策・上水道の維持管理と取組



福屋　法晴

動画視聴

問 **地震発生時、市庁舎の免震システムに対応する振れ幅確保の溝の安全性は。**

答 大規模な地震発生時に上部構造物が、水平変位する際、適正に機能することで、安全を確保することが可能である。

問 **災害時の上水道の濁り対策として、緊急時に飲料水として、提供できる可搬式浄水装置を活用する考えは。**

答 飲料水の確保を最優先に考え、財源をはじめ、給水車や緊急時に稼働させる可搬式浄水装置の整備を今後、検討したい。

問 **浪床地内に埋設してある茂ヶ野水源地から原城配水池までの送水管の改修工事を行う予定は。**

答 道路管理者と協議の上、早急に対策を講じてまいりたい。

職員採用制度の抜本改革



池田　芳隆

動画視聴

問 **退職職員の再採用「ジョブリターン制度」の導入は。**

答 熊本県をはじめ、他の自治体でも再採用制度の導入や検討が進められていることは承知している。本市でも、制度導入に向けた効果や人事管理上の課題、他自治体の先行事例等の情報収集から始め、調査・研究を進めていきたい。

問 **専門試験廃止や人物重視枠など、採用方法の柔軟化を図るべきでは。**

答 本年度から、即戦力人材確保につなげるため、保健師・土木・建築といった技術職の民間企業及び公務員経験者は「通年採用」を導入した。試験においても、人物重視とするため面接試験のみとするなど、見直しを図っている。採用市場の動向を注視し、効果的な採用試験の見直しに取り組みたい。

次期総合計画策定と確実な災害対応への提言



松村　太

動画視聴

問 **次期総合計画に当たり、データに基づく策定が必要ではないか。**

答 これからのまちづくりを進めていくためには、これまで取り組んできたことを着実に継続するだけではなく、その取組が市民の皆様の暮らしや地域社会にどのような成果をもたらしているのかを振り返り、必要な改善を重ねていくことが重要であると考えている。次期総合計画については、市民の皆様と課題や成果を共有しながら、より良い議論を積み重ねていく。

問 **地域支援を実際的で確実な避難支援と結びつける体制づくりは。**

答 行政による直接の支援には限界がある。本市で先行して成果を上げている町内会の事例を参考に、地域が主役となる仕組みを市全体へ広げる基盤づくりを進める。

一般質問 ～市政を問う～

一般質問・通告書はこちらから

※一般質問の録画映像もご覧いただけます。

住みよさと公共交通でまちづくりを！



豊永　貞夫

動画視聴

問 **「住みよさ日本一」を今後のまちづくりにどう生かすのか。**

答 全国1位をまちづくりの完成とは考えていない。人口減少が続く中、若い世代が「住み続けたい、帰ってきたい」と思える環境が必要である。市民の声を聞きながら、復興の先にあるまちづくりを進め、「住みよさ日本一」から「住み続けたいまち人吉」へつなげていく。

問 **人口減少・高齢化が進む中、車を運転できなくなっても安心して人吉に住み続けられる持続可能な地域公共交通をどう構築するのか。**

答 公共交通は暮らしや健康、地域経済、福祉、教育を支える重要なインフラ。利用実態や市民ニーズ、地域特性、実証運行の結果を分析し、地域の実情に応じた持続可能な地域公共交通を構築していく。

こどもの居場所も「災害への備え」に



徳川　禎郁

動画視聴

問 **大規模災害時、子どもが安心して過ごせる居場所の確保は、子ども自身を守るだけでなく、保護者が安心して復旧活動や行政等の手続きを行うためにも重要と考える。平時から地域の居場所や関係団体等と連携し、災害時にも活用できる仕組みを構築する考えは。**

答 子どもたちが安心して過ごせる居場所を確保し、日常を取り戻すことは未来への投資として極めて重要である。多様な事業主体と緊密に連携し、平時から子どもたちが多様な大人や世代と交流できる居場所づくりを支援していく。そのことが、いざという時に迅速な支援につながるものと考える。

※他、令和2年7月豪雨災害の検証を踏まえ、避難所運営や職員体制、備蓄品の保管環境等を質した。

安心して出産子育てができる支援を



川上　紗智子

動画視聴

問 **子育て支援の産後ケアとは。**

答 この事業の目的は産後の身体的心理的ケアを始め、授乳や育児の具体的な方法、生活相談等の支援で産婦と乳児の健康維持増進を図り、安心して育児ができる環境を整えること。対象は本市に住民票がある産後1年未満の産婦で、令和7年度から産後ケアを必要とする全ての人に対象を拡充した。この事業には、短期入所型ケア、通所型ケア、居宅訪問型ケアの3種のサービスがある。いずれの事業も利用実績は増加傾向にある。

問 **利用者には好評だが、さらに利用を広げるための手だては。**

答 利用希望者がサービスを受けやすいように支援の在り方や自己負担の軽減策についても検討する。医療機関などと連携して周知する。

一般質問 ～市政を問う～

防災の観点から見た水確保の重要性



牛塚　孝浩

動画視聴

問 災害直後に、生活用水などは何日分が確保できるのか。

答 備蓄水は一人当たり２Ｌを１３００人分・２６００Ｌ、給水車１台で１㎥を１回３００人分、災害時協力井戸からの取水量は把握できていない。

問 地域で水を生み出すため、移動が可能な小型淡水化装置（一日２８８０Ｌ造水）は有益だ。分散型水インフラとして導入できないか。

答 可搬式浄水装置の研究を始めたところだが、淡水化装置も有益であり、選択肢の一つとし、省庁の枠を超えた補助事業としての情報を収集し、検討を続けたい。

※他、令和８年熊本地震の影響を受けた全ての事業者に対する経済対策支援について質した。

令和８年９月定例会の議案等の議決結果

議案番号	件名	議決結果	議案番号	件名	議決結果
議第72号	専決処分の承認を求めることについて(令和８年度　人吉市一般会計補正予算(第４号))	原案承認	議第84号	人吉市消防団条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第73号	令和８年度　人吉市一般会計補正予算(第５号)	原案可決	議第85号	人吉市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第74号	令和８年度　人吉市水道事業特別会計補正予算(第１号)	原案可決	議第86号	人吉市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第75号	令和８年度　人吉市一般会計補正予算(第６号)	原案可決	議第87号	人吉市印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第76号	令和８年度　人吉市国民健康保険事業特別会計補正予算(第２号)	原案可決	議第88号	人吉市子ども医療費助成に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第77号	令和８年度　人吉市後期高齢者医療特別会計補正予算(第１号)	原案可決	議第89号	人吉市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第78号	令和８年度　人吉市介護保険特別会計補正予算(第２号)	原案可決	議第90号	人吉市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第79号	令和８年度　人吉市水道事業特別会計補正予算(第２号)	原案可決	議第91号	人吉市水道事業及び公共下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第80号	令和８年度　人吉市公共下水道事業特別会計補正予算(第２号)	原案可決	議第92号	市道路線の廃止について	原案可決
議第81号	令和７年度　人吉市水道事業特別会計利益の処分及び決算の認定について	継続審査	議第93号	市道路線の認定について	原案可決
議第82号	令和７年度　人吉市公共下水道事業特別会計利益の処分及び決算の認定について	継続審査	議第94号	人吉市長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第83号	人吉市長等政治倫理条例の制定について	原案可決	議第95号	令和７年度　人吉市歳入歳出決算認定について	継続審査
			意見第5号	非核三原則の堅持を求める意見書	原案否決

議員別表決　「表決が割れた」議案とその議員別表決

賛否が分かれたもののみを掲載しております。○：議案に対して賛成　●：議案に対して反対

議案番号	件名＼議員氏名	川上紗智子	松村太	徳川禎郁	池田芳隆	牛塚孝浩	宮崎保	大塚則男	平田清吉	井上光浩	豊永貞夫	西信八郎	村上恵一	田中哲	福屋法晴	宮原将志
意見第５号	非核三原則の堅持を求める意見書	○	●	●	○	●	○	○	●	○	○	●	○	●	●	●

【反対討論】田中　哲　　【賛成討論】池田芳隆　※可否同数であったため、議長が裁決し「否決」となりました。

総務文教委員会行政視察(令和８年10月13日～15日)

【視察先】島根県安来市
【項　目】小中学校の適正配置について
【内　容】島根県安来市では、少子化や児童生徒数の減少に伴い、令和５年11月に「安来市立小中学校適正配置基本計画」が策定され、各校の存続や再編の方向性が決定されています。小学校は現在の学校数を約２分の１に、中学校は現在の５校から４校へ再編予定とされています。

視察では、廃校となる校舎の活用方法の検討などについて学びました。



【視察先】岡山県笠岡市
【項　目】小中学校の規模適正化について
【内　容】岡山県笠岡市では、継続的に完全複式学級編成となっている小学校を近隣小学校と統合する検討が進められています。また、笠岡市北部においては児童数の減少により現在の３校を１校に統合し、既存の校舎を活用した新たな小学校の設置が予定されています。

視察では、市の実態に応じた配置・規模の設定について学びました。



【まとめ】学校統合・再編に際し、「子ども」や「子どもの教育環境」を第一という目的を明確にすること。首尾一貫して、学校環境の最適化について、住民・関係者と議論し、長期ビジョンとして示すこと。子どもの教育の在り方の議論は「大人の責任」であると学びました。

厚生委員会行政視察(令和８年10月15日～17日)

【視察先】山口県山口市
【項　目】書かない窓口について
【内　容】山口県山口市では、市役所窓口における各種証明書の申請や転入などの手続きについて、来庁者の負担軽減を目的に「ワンストップ」で「書かない窓口」を導入されています。視察では、書かない窓口導入に伴うシステム構築コストと運用の実態や、導入により職員の事務処理時間及び来庁者の待ち時間の削減効果について学びました。



【視察先】香川県坂出市
【項　目】高齢者保健・介護予防一体化事業におけるフレイル予防、オーラルフレイル対策について
【内　容】香川県坂出市では、医療と介護のデータを統合し、医療専門職が地域の通いの場に関与する「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施」を先進的に進められています。フレイル予防に係る具体的な取組や、効果について学びました。



【まとめ】山口市の「書かない窓口」による事務処理時間の半減や、坂出市の通いの場等への医療専門職の積極的な関与など、先進技術や民間力の活用が鍵です。本市でも費用対効果を見極め、DXによる利便性向上と専門的な健康づくりの両立を目指してまいります。

※経済建設委員会行政視察の報告は次号(令和９年２月１日号)に掲載予定です。

令和８年度南九州中部市議会議長会中央要望活動

南九州中部市議会議長会は、小林市、えびの市、伊佐市、人吉市の４市議会議長で構成され、地域の諸問題解決に協力し取り組んでいます。

今年は、令和８年８月３日～４日に国会議員及び関係省庁に対し「国道221号、267号、268号、447号の整備促進」、「地域医療の確保」、「家畜伝染病に係る防疫対策及び畜産・農業経営に対する支援の充実強化」の３件について要望活動を行いました。



令和８年度熊本県知事への要望活動

令和８年８月24日に熊本県市議会議長会において、熊本県(木村敬知事)に対し、「熊本県北地域の地域振興の促進について」、「熊本県南地域における災害対策の強化について」の２件について要望活動を行いました。

また、令和８年熊本地震についての意見交換も行いました。



行政視察を受け入れています！

７か所の区・市・町議会から、行政視察に来ていただきました。視察に来られた際には、人吉市のPRも行っています。

期　日	来訪区市町議会	視　察　項　目
7月7日	寒川町議会 総務常任委員会	熊本豪雨からの復旧・復興について
7月13日	串間市議会 議会改革調査特別委員会	委員会における政策提言の取組について
7月23日	袋井市議会 会派「緑風会」	ハード・ソフト一体の豪雨対策について(人吉市復興まちづくり計画)
8月28日	豊島区議会 会派「都民ファーストの会豊島区議団・国民民主党」	・災害からの復興について ・アニメ夏目友人帳を活用した取組について
10月5日	小林市議会 経済産業委員会	くまりばの取組について
10月6日	小山町議会	2020年７月豪雨からの復旧について
10月8日	戸田市議会 政策TODA	令和２年７月豪雨による被害並びに復旧の状況について

議会報告会・意見交換会のご案内

議会報告会・意見交換会を下記のとおり開催します。今年度も、２会場で２日間開催いたしますので、たくさんの方々のご参加をお待ちしております。

どなたでもお気軽にお越しください。

《第１回》

日時：令和８年１１月７日(土)
　　午後２時～４時(予定)
場所：東西コミュニティセンター
　　２階会議室

《第２回》

日時：令和９年２月６日(土)
　　午後２時～４時(予定)
場所：人吉市役所 ２階会議室


村上部会長

寄せられたご意見に村上恵一部会長がお答えします！

議会のDX化検討部会

ひとよし市議会だより(第127号)にてアンケート調査を実施しましたが、その際に「文字離れしている現状を考えると、動画でまとめて作ってYouTubeで見せるなど、議会に関心を持ってもらうことが必要かなと思います。」とのご意見をいただきました。

今回はこのご意見に対し、議会のDX化検討部会がお答えします。

～もっと身近な市議会へ！SNS発信を強化～

近年、議会広報にショート動画を活用する自治体が増えています。他自治体では、一般質問終了後に各議員が質問内容を紹介するショート動画を公開し、本編動画への誘導につなげています。また、全議員の自己紹介や活動をショート動画で発信する自治体もあります。

人吉市議会でも、SNSを活用した広報の一環としてFacebookを開設し、情報発信に取り組んできました。さらに広報を充実させるため、ショート動画の活用について検討を進めていたところです。

そのような中、人吉高校の生徒３名が、探究活動の一環として、ショート動画などSNSを活用した議会活動の発信について研究していることから、議会のDX化検討部会としても、その活動に賛同し協力することとしました。

令和８年８月26日には、スマートフォンやタブレットに動画編集アプリをインストールし、生徒の皆さんから基本操作や編集機能について学びました。「若い世代の目に留まる動画とは」「どうすれば市民の皆さんに市議会へ興味を持っていただけるのか」を一緒に考えながら、実際に動画編集にも挑戦しました。高校生から学び、ともに考える貴重な機会となりました。今後も、ショート動画を含めたSNS発信を議会活動のPRに活かせるよう、さらに研鑽に努めてまいります。



※議会のDX化検討部会…議会運営のデジタル化（DX：デジタルトランスフォーメーション）を円滑に進めるための部会です。

編集後記

朝夕の冷え込みに秋の深まりを感じ、木々も少しずつ色づく季節となりました。今年の夏は、熊本地震による断水など、改めて日頃の備えや、当たり前の日常のありがたさを考える機会となりました。

豪雨災害からの復旧・復興が進む一方、人口減少や高齢化など、私たちの暮らしを取り巻く課題も少なくありません。９月定例会では、地域公共交通をはじめ、市民生活に身近なさまざまな課題について議論が交わされました。

議会で何が話し合われ、どのような方向を目指しているのか。議会だよりを通して一人でも多くの皆さまに知っていただき、議会を身近に感じていただけるよう、これからも読みやすく分かりやすい紙面づくりに努めてまいります。

文責：豊永　貞夫

次の定例会は
11月24日開会の予定です

【議会報編集委員会】　委員長／宮原　将志　　副委員長／福屋　法晴
委　員／川上　紗智子・松村　太・徳川　禎郁・池田　芳隆・牛塚　孝浩・豊永　貞夫